

ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会

冷戦変容期の 南アジア世界

2020年2月29日(土)

14:00~16:30

土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

受講料無料

どなたでも受講できます。
直接会場にお越しください。



第二次世界大戦後新たな国際秩序が再編される過程で、南アジアにおいては、冷戦という体制下で比較的真空状態(「遅れた冷戦」)が続いたといわれている。しかし、国際情勢の緊迫化によって1960年代初頭には一気に緊張状態に陥った。このような激動する国際情勢下でのインドをめぐる諸相を考えてみたい。

講師紹介

南アジア国際秩序をめぐる インドとアメリカの対話

渡辺 昭一

本学文学部教授、大学院文学研究科科長

主な著作:『帝国の終焉とアメリカ』(編著、山川出版社、2006年);『コロンボ・プラン』(編著、法政大学出版会、2014年);『冷戦変容期の国際秩序と開発援助』(編著、ミネルヴァ書房、2017年)など。

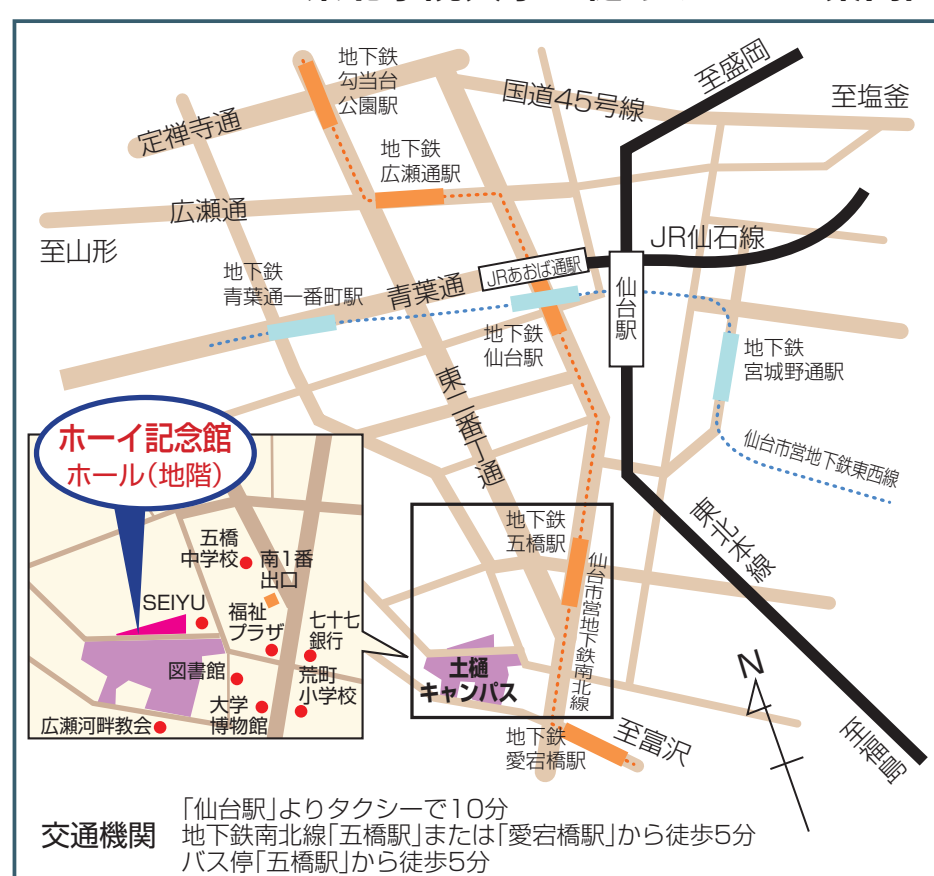
軍事産業都市バンガロール の誕生と変容

横井 勝彦

明治大学商学部教授、国際武器移転史研究所所長

主な著作:『軍縮と武器移転の世界史ー「軍縮下の軍拡」はなぜ起きたのかー』(編著、日本経済評論社、2014年);『航空機産業と航空戦力の世界的転回』(編著、日本経済評論社、2016年);『ブリテッシュ・ワールドー帝国紐帯の諸相』(共著、日本経済評論社、2019年)など。

東北学院大学土樋キャンパス案内図



主催:東北学院大学 ヨーロッパ文化総合研究所

問合せ先 東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所 TEL/FAX 022-264-6379

E-mail: europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp